

なめがたブランド戦略会議の取り組みを紹介します

令和元年7月5日、なめがた食彩マーケット会議は「なめがたブランド」を確立し発信するために「なめがたブランド戦略会議」へと生まれ変わりました。本市で生産される農畜水産物、観光資源や特産品、それらを生産する生産者、この地域の文化など、幅広い地域資源のブランディングと情報発信に取り組み、知名度の向上、市産業の活性化を図ることを目的に行ってきた取り組みを一部ご紹介します。

【トップセールス】

◆行方かんしょフェア 2020.1.25 in 東京交通会館前、IBARAKI sense



行方市産サツマイモを「行方かんしょ」として、行方市特産物のPRを行いました。東京都内にサツマイモタワーとトラクターを展示し、行方市のサツマイモ畑を再現。また、焼き芋の配布を行ったところ、たくさんの方から「おいしい」との言葉を頂き好評でした。

◆恋のつぼみカフェ 2019.9.13～16 in 東京交通会館前

フルーツトマト「恋のつぼみ」をPRしました。行方産の野菜セットも販売するなど「野菜王国」を印象づけました。

◆コープこうべ行方フェア 2019.12.8 in 兵庫県神戸市

行方産野菜および6次化商品のPRを行いました。関西地方への行方市産農産物の流通先確保に努めています。

【農畜水産物 PR】

◆なめがた湖と大地の春まつり 2019.4.28 in 霞ヶ浦ふれあいランド



行方市恒例のイベント。漁師市と合わせて開催し、行方市の農畜水産物全てがそろい盛況でした。

◆なめがたトマティーナ 2019.7.13-14 in 霞ヶ浦ふれあいランド



トマト商品販売、早食い大会、トマト食べ比べなど、楽しみながらトマトを味わえるイベントを開催しました。

◆第5回行方レシピコンテスト テーマ：豚肉

簡単で美味しいレシピを募集。59件の応募があり、第2次審査を3月下旬に行い入賞者が決定します。

◆SNSでの情報発信

ツイッターやインスタグラムで随時情報発信しています。



【特産品開発】

◆いもくりなんきん

行方市、笠間市、那珂市、中川学園で「三市いいもん会議」を立ち上げ、三市の特産物(甘藷、栗、南瓜)を使用した茨城を代表するお菓子を開発しました。



◆行方の紫福(しふく)

連携協定企業である(株)DHCとのコラボ商品。紫芋の新品種「ふくむらさき」を使用したクラフトビールをつくりました。行方市開発公社にて、3月中旬から販売予定です。



50年間の思い出を胸に

学校法人三育学院 北浦三育中学校が閉校します

昭和40年4月、北浦村村長 高柳庄次郎氏の強い要望を受けて、北浦三育幼稚園が開園しました。地元の方々に愛され、地域の95%の児童が入園し、10年間で1187名が卒園しました。契約期間が終わる頃には存続を願う署名運動にも預かりました。卒園生の多くは今では50代、行方市でも活躍されており、移転統合にあたって大変お世話になりました。

幼児教育での信頼から、昭和44年4月「神に仕え人に奉仕する人物を育成する」ことを教育目標に北浦三育中学校が開校しました。県議会議長の千ヶ崎惣右衛門氏のお声掛けにより、白帆の見える丘に学校が建てられ、創立から50年がたちました。

行方市は水と緑に恵まれ農作物が豊かな地域ですが、この町の最大の魅力は、温かく、優しい「人」です。運動施設、文化施設も充実しており、町のグラウンドや体育館、テニスコートでの夏合宿、文化会館では吹奏楽団、ハンドベル、

聖歌隊が活躍する舞台として利用させて頂きました。行方市は最高の教育環境が整っており、三育生にとって忘れられない青春の舞台となりました。

この度、高等教育との一体化を図り、次世代に向けて更なる教育の充実を目指し、千葉県大多喜町に移転し、三育学院中学校として再出発いたします。地域の皆さまには言葉では言い尽くせないほどの感謝の気持ちでいっぱいですが、これからも行方での温かい思い出を忘れず教育活動に励んでまいります。

令和2年3月

学校法人三育学院 北浦三育中学校

校長 久住祐嗣郎



航空写真（平成3年4月撮影）



2020 なめがた郷土かるた大会開催

1月25日（土）、麻生公民館体育室を会場に、2020なめがた郷土かるた大会の熱戦が繰り広げられました。

当日は3人1組で12組がエントリーされ、2回戦の結果で決勝トーナメントに進める4チームを決めました。決勝トーナメントの試合は、どれも手に汗握る接戦となり、非常に見応えのある試合となりました。

今大会では、ボランティアとして、北浦中学校と麻生中学校の生徒の皆さんと市文化協会の皆さんにも協力をいただき、スムーズな進行で行われました。参加チームの子どもたちも1年間の練習の成果を出し切り、一試合一試合の真剣さが伝わってきた素晴らしい大会でした。結果は、以下のとおりです。

【チーム優勝】スターガールズ（玉造小）

【個人優勝】武内ゆりなさん（玉造小）



行方市食生活改善推進員の新しいメンバーを紹介します

養成講座を受講された9名の方が、令和2年度から新たに行方市食生活改善推進員に加入します。

食生活改善推進員の活動はその名前のとおり、食生活の改善のために活動するボランティアです。

「家族」そして「お隣さん、お向かいさんへ」と働きかけ、仲間とのふれあいを通じ、地域ぐるみで食生活改善の促進・健康保持・体力づくりに寄与することを目的としています。

新しいメンバーの方々にも、市民の健康増進のため活動していただきたいと思います。



体力づくり関係表彰で市内3校が受賞

麻生東小（優秀賞）北浦小（優秀賞）玉造小（奨励賞）

1月28日（火）、ザ・ヒロサワ・シティ会館（県民文化センター）において市内小学校3校が茨城県教育委員会より表彰されました。麻生東小と北浦小が受賞した優秀賞は、県内小学校のうち、体力テストの総合評価の値が大きい上位4%程度の小学校に与えられるものです。また、玉造小が受賞した奨励賞は、体力テストの総合評価の値が、昨年度の値と比較して伸びが大きい学校に与えられるものです。

2月3日（月）に麻生東小学校の花ヶ崎圭一郎校長、北浦小学校の武田民弥校長、玉造小学校の大曾根善治校長が横田英一教育長を訪れ受賞を報告しました。各学校とも創意ある業間運動を実施するなど、体力づくりに関する取組の成果が受賞につながりました。おめでとうございます。



文部科学大臣優秀教職員表彰受賞

北浦中学校 小沼優子教諭

北浦中学校の教務主任 小沼優子教諭が、1月20日（月）に坂上彰弘校長と来庁し、横田英一教育長に文部科学大臣優秀教職員表彰受賞報告をしました。小沼教諭は同14日（火）に東京大学・安田講堂で行われた表彰式に、全国の優秀教職員と共に出席し、萩生田光一文部科学大臣から祝辞をいただきました。

これまでの学習指導や生徒指導への取組が評価されての受賞ですが、小沼教諭は「私一人の受賞ではなく、皆さまのおかげ」と感謝の言葉を述べ、横田教育長は「今後もその力を本市の子どもたちのために発揮してほしい」と激励しました。

小沼先生のますますのご活躍をご祈念いたします。おめでとうございます。

ママの笑顔が子育てを変える

子育てスタディカフェを開催

2月1日（土）、麻生公民館において、ママスマイル行方（羽鳥悦子代表）による子育てスタディカフェが行われました。子育て中のママが企画・運営する初挑戦の活動で、ママ同士の新たな学びの場を作り出し、楽しみながら子育て力を伸ばすことが目的です。

当日は親子や子育てボランティアなど40人以上が参加し、子育てに関する情報交換や親子でスクラップブック制作を行いながらそれぞれの交流を深めました。

なお、この事業は特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく（池田馨理事長）の男女共同参画推進支援事業補助金を活用しており、昨年7月に行方市男女共同参画推進委員会が主催した子育てカフェ in Namegata をきっかけとして実現しました。





今日から始める環境にやさしい生活

花で彩るまちづくり会 環境保全キャンペーン

行方の雛まつり期間中の2月16日(日)、麻生公民館において、花で彩るまちづくり会による手づくりの環境保全キャンペーンが開催されました。

これは自然豊かな本市の花で彩るまちづくりの推進と環境保全運動を同時に実施したものです。特に、環境にやさしいコーナーでは、牛乳パックやペットボトルを再利用した会員手づくりのペン立てや小物入れ、水質浄化取り組みのリング編みの良く落ちるアクリルたわし、ビオラなどの花も手ごろな価格で提供し好評でした。

「楽しみながら行う花で彩るまちづくりへの貢献と共に、エコな生活による環境保全意識を持ち続けることが大切」と会員は話していました。



横田教育長 山田氏子総代代表 内野英治郎さん

市の指定文化財に 山田八坂神社祇園祭が決定しました

この度、山田八坂神社祇園祭が、市文化財保護条例に基づき、市指定文化財に指定されました。この祭礼の「暴れ神輿」は、神輿振りが半端でなく「神輿が暴れば暴れるほど豊作だ」「神輿が荒れ狂うほど神が喜ぶ」と言われており、約300年の歴史があります。

旧来の伝統を守り受け継がれている暴れ神輿は県内でも類例がなく、大変珍しいお祭りです。毎年7月最終土曜日が宵祇園、日曜日が本祇園となっています。

これで市指定文化財は70件になりました。このほかに市内には国指定が2件、県指定が13件あります。

行方地区6区合同の地域防災訓練が開催されました

2月9日(日)、五町田・於下・今宿・行方・藤井久保・船子の計6区合同主催による地域防災訓練が西浦地区学習センターで実施されました。

訓練では、行方消防署指導のもと、消火器・消火栓の取扱いやAED操作、応急処置等の各種訓練が実施されたほか、地元の五町田消防団による、小型ポンプ操法の実演が行われました。

五町田区の大曾根区長からは「自分のことは自分でしっかりと守る。また、お互いに助け合う共助精神を養い、防災に対する意識の向上を図ってほしい」とのあいさつがあり、訓練に参加された方からは「いざというときに、役に立つ良い経験ができた」など、安心安全に対する関心の高さが伺えました。



子ども会活動の促進と充実を

茨城県優良子ども会等表彰

1月26日(日)、茨城県立歴史館において茨城県優良子ども会等表彰式が開催され、本市の1団体と指導・育成者1人に賞が贈られました。

この表彰は、県内で顕著な活動をしている子ども会および育成にあたった団体・個人を表彰することにより、子ども会活動の促進と充実を図るために行われています。受賞された皆さん、おめでとうございます。

【優良子ども会】

日の丸子ども会(津澄学区)

【優良子ども会指導・育成者】

藤崎仙一郎さん(行方市子ども会育成連絡協議会理事)



第47回行方市親善卓球大会

1月25日(土) 麻生運動場体育館

■中学生シングルス

男子

【優勝】青木愛夢(潮来一中) 【準優勝】香取陽斗(潮来一中)

【第3位】渡部力斗(潮来二中) 稲田真也(潮来二中)

女子

【優勝】田崎ひなた(麻生中) 【準優勝】風間あかね(玉造中)

【第3位】黒沢美奈(玉造中) 荒木田七咲(麻生中)

射初会

1月12日(日) 麻生運動場弓道場

射詰 【優勝】齊藤勝美(玉造)

射込

【優勝】柳町照夫(麻生) 【準優勝】久保喜雄(麻生)

【第3位】河須崎恒(麻生)

団体

【優勝】久保喜雄(麻生) 柳町照夫(麻生) 佐藤至学(玉造)

金的 久保喜雄(麻生)

鼠的 久保喜雄(麻生) 柳町照夫(麻生) 佐藤至学(玉造)

行方市冬季バドミントン大会

1月26日(日) 北浦運動場体育館

■男子ダブルス 70

【優勝】友部・中根 組(羽飛)

【準優勝】塙・加藤 組(羽飛)

【第3位】遠田・川並 組(北浦クラブ)

■男子ダブルス 90

【優勝】栗原・平井 組(羽飛)

【準優勝】小島・宮村 組(北浦クラブ)

■男子ダブルス 100

【優勝】本泉・谷 組(シャトルパープル)

【準優勝】根本・安藤 組(L & B)

■女子ダブルス 90

【優勝】星・佐藤 組(L & B)

【準優勝】芳賀・根本 組(吉沢イオス)

【第3位】重実・高柳 組(北浦クラブ) 瀬尾・岩本 組(木曜会)

■初心者ダブルス

【優勝】小沼・渡邊 組(大洋クラブ)

スキー教室

1月17日(金) ~ 19日(日) 苗場スキー場(新潟県)



第14回行方市近隣スポーツ少年団 バレーボール大会

1月18日(土) 北浦運動場体育館ほか

【優勝】小美球ブルーインパルス